

記録者 職氏名 健康福祉課 技師 高橋 真紗子

平成25年度美里町健康づくり推進協議会並びに美里町食育推進会議

会議録

開催年月日	平成26年2月19日(水)
開催の場所	美里町 健康福祉センター 二階研修室
開催時間	18時30分～20時15分
出席委員	高橋 文一委員、袖井 文二委員、玉手 英一委員 佐藤 千恵委員、佐々木 洋子委員、穴戸三千孝委員、 松田 彰洋委員
欠席委員	伊藤 恵子委員、渡辺 新美委員
出席した職員	相澤 清一町長、渋谷芳和課長、 菊地知代子、伊藤八重子、日野とも子、 及川 沙希、伊藤 恵、高橋真紗子 千枝則夫分室長、佐々木早苗、佐藤直子、千葉 雅子

会議の経過

渋谷課長	開会
相澤町長	<p>町長に就任し、今日でちょうど 2 週間でまだ慣れないと感じております。前の佐々木町長から新たに町政運営のかじ取りを任せられ、町民のみなさんの信託に応えて頑張っていきたいと感じております。行き渡らない点もあるかと思いますが、よろしく申し上げます。本日は健康づくり推進協議会並びに美里町食育推進会議ということで、委員の皆さんには夜分お疲れのところ、またお寒い中お集まりいただき、厚く御礼を申し上げます。常日頃から町民の健康づくり、食育推進のためにそれぞれの立場でご尽力いただいていることに改めて感謝いたします。</p> <p>美里町では総合計画を踏まえた町づくりをしており、保健関連事業については美里町健康増進計画及び第二期美里町食育計画に基づいて生涯を通じて町民が健康で自立した生活が送れるように関係機関と連携しながら事業を進めているところです。そのためにも、がんや脳卒中、心臓病などの生活習慣病の予防を図ることが大切であり早期発見、早期治療を図りたいところですが、残念ながら美里町の現状では働き盛りの若い世代の受診率が低いということになっています。</p> <p>本日は 25 年度の実績を通じて 26 年度の保健事業計画についてご審議・協議をいただき、健康課題に対するみなさんご意見・ご要望をいただきながら町民のみなさんが元気で健康に生活を続けられるように生活習慣病を予防し自らの健康づくりに取り組んでいただけるよう、今後も関係機関と連携し事業を進めて参りたいと思っております。</p> <p>実りの多い会議になりますようお願い申し上げます、本日のあいさつとさせていただきます。</p>
渋谷課長	では議事の進行につきましては高橋会長、お願いします。
高橋会長	<p>相澤町長からもお話のあったように実りの多い会議にしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>さっそくですが、議事録署名委員及び書記の選出に移らせていただきます。お任せいただいでよろしいでしょうか。</p>
全委員	了解の返事あり

高橋会長	<p>議事録署名員には、袖井委員と佐々木委員、書記には高橋保健師にお願いしたいと思います。</p> <p>審議事項に入らせていただきます。1)美里町健康づくり推進協議会から始めさせていただきます。美里町健康増進計画に基づく平成25年度保健事業報告、平成25年度保健事業計画(案)について続けて報告していただきたいと思います。</p>
菊地	<p>差し替え資料と参考資料を追加資料としてお渡ししていました。(追加資料について説明)</p> <p>また、保健所から第2次みやぎ21健康プランをいただきましたので、併せてご覧ください。</p> <p>美里町健康増進計画に基づく平成25年度の保健事業計の報告につきまして資料1、並びに資料1-1を使用して各重点項目ごとに各担当から概要の説明をさせていただきます。</p>
各担当者	<p>【栄養・食生活】(伊藤恵)</p> <p>「食育の日」及び食育推進月間PR～野菜摂取のすすめ 食育サポーター活動支援</p> <p>【身体活動・運動】(伊藤八重子)</p> <p>・特定健診受診者への運動教室の開催</p> <p>【歯の健康】(日野)</p> <p>乳幼児歯科健診事業～保護者の歯科に関する意識アンケートの実施～ 歯周疾患健診事業</p> <p>【こころの健康づくり】(及川)</p> <p>こころの健康づくり健康講話(地区民生委員協議会) ゲートキーパー養成講座(町職員研修)</p> <p>【タバコ・アルコール】(及川)</p> <p>妊娠・出産をきっかけに禁煙継続に向けた保健指導 たばこに関する正しい知識と情報提供～結核検診時にパンフレットなどの配布 アルコールに関する正しい知識と情報提供～こころの健康づくり学習会</p> <p>【生活習慣病】(伊藤八重子)</p> <p>がん検診受診率向上事業(受診勧奨個別通知) 若年層への普及啓発～3歳児健診時保護者向け検診啓発PR 特定健康診査事業啓発用リーフレットの全対象者への配布</p>

	<p>特定健康診査康診査事業～重症化予防の取組(訪問強化月間の設定)</p> <p>「美里町健康増進計画」の推進に向けた平成 26 年度保健事業計画(案)について(菊地)</p>
高橋会長	<p>ありがとうございました。今、報告と案と一緒に発言いただきましたが何かご意見ありましたら発言お願いします。</p>
菊地	<p>質問がありますが、よろしいでしょうか。</p>
高橋会長	<p>事務局どうぞ。</p>
菊地	<p>美里町で人工透析の方々が増えている実態もあり、昨年からは健診の項目の中にクレアチニン検査やeGFR値を増やし、できるだけ早期に生活習慣の見直しをしてほしいということで取り組んできました。しかし、実際に受診の勤めをしながら訪問をして何うと、受診はしたが先生からまだ治療の範囲ではないということでお話があるようです。健診としての基準値の要医療と先生方の治療値との間に違いがあるとは思いますが、こちらとしては要医療の部分は重点取組として早めの対応をしたいと思っておりますが、実際に伺ってみると治療にはならないようなのですが、先生方から特に、というところがあればご指導いただきたいです。</p>
玉手委員	<p>健診でクレアチニン値の異常を指摘しても、それを治療してくれないということだと思いますが、クレアチニン値を改善する治療は特にはないです。悪化させないために血圧や糖尿病などの問題の治療がクレアチニン値の治療になります。クレアチニン値を治してくれというのは治療がありません、と答えるしかありません。最終的に悪化したときには人工透析などの方向になりますが、命を救うための治療であってクレアチニン値を治すための治療ではありません。一つの指標であります。クレアチニン値を治すための治療をしてくださいという指導は間違っているのではないかなと思います。高血圧や糖尿病、動脈硬化等を治してくださいという言い方に直していただかないと治療がうまくいかない、続かないと思います。</p>
高橋会長	<p>値ひとつではなく全体として大きく見ていかないと医師も困る結果になってしまうので、きちんと整理して対応していただきたいと思っております。</p>
菊地	<p>ありがとうございます。保健師や栄養士の関わりとして糖尿病や高血圧を悪化させない、予防するための保健指導のところを前面に</p>

	出していくべきだということですね。
玉手委員	単純にクレアチニンだけを治療するという勧め方は受け入れられないと思います。
高橋会長	検査項目を全部とらえてどのように上がっていくかなど系統を分けて示さなければ難しいと思います。そのような図を示すと対象者も納得すると思います。一個ずつの値を捉えてこれが悪いということではなく、なっている傾向にあると思います。今回、玉手先生より良い意見を頂いたので、今後活かしてほしいと思います。 他に気づいた点はありますか。
菊地	もう一つ先生方に確認したいことがあるのですが、よろしいでしょうか。
高橋会長	事務局どうぞ。
菊地	毎年、健診の受診率の向上が課題になっているところでありますが、なかなか成果としてあがってこない現状にあります。 健診を受けない理由を年1回取らせて頂いていて、40代・50代の3割程度の方が職場や病院で受けており、その方々を除いての受診率として挙げさせていただいている状態です。 宜しければ先生方からも働き盛り世代へのアプローチ方法等何かご意見いただければと思います。どうしたら良いのか、こちらとしても煮詰まっている状況にありますので、宜しければアドバイスを頂きたいと思います。
玉手委員	特定健康診査の受診率ですか。
菊地	特定健康診査だけでなく、がん検診等も含めてです。
高橋会長	歯周疾患健診もですが、日頃感じていることなどはありますか。
袖井委員	産業医として様々な場所に行ってお話する機会があるが、最初から受けないという人と、俺は健康だから受けないという人に分かれてしまうのです。その人を説得して健診を受けさせるというのはとても大変です。 予防接種もそうだが、分かっている受ける人と、それでも受けない人、何をしなくとも受ける人とがいるので、とても大変です。
高橋会長	ひとつの方法として恐怖心をあおる方法もあると思うのです。
袖井委員	それでも受けない人は受けないと思います。
高橋会長	町のホームページを最近見ている人が多いので、インパクトのあるホームページやチラシの作り方を工夫したほうが良いと思います。チラシもカラーにしたほうがよいと思います。そうでないと、病気の状態

	<p>が視覚でみられないと思うので、どこかで工夫しなければいけないと思います。</p> <p>袖井先生がおっしゃったように即効の方法というものはないと思われませんが、先生方から何かご意見ありますか。</p>
玉手委員	<p>各地域の健診日を決めているようですが、その日を逃すと 1 年間健診は受けられないのですか。</p>
菊地	<p>各地域で一応の日割りはさせていただいていますが、美里町としての健診期間は続いているのでその健診期間であれば、いつでも受けることができます。小牛田地域の方が南郷地域で受ける場合もありますし、南郷地域の方が小牛田地域に来て受けることもあります。</p>
玉手委員	<p>地区で誘い合っていくというパターンがあり、それがなくなると受けなくなるケースが多いのかなと思います。受けられない人を救い上げられるような取組を考えていけたらと思います。</p> <p>保健師や町の受付などが第二弾のパンフレットを渡すなどの方法もあるかと思います。</p>
高橋会長	<p>期間としては長いですが、玉手先生のお話も一つの方法であると思いますのでどこかで一度くらい試してほしいと思います。</p>
菊地	<p>25 年度は春しか行っていなかった結核検診を秋に 1 回追加をしたところ、少し受診者が増加しました。特定健診も以前は秋の分は広報でしかお知らせしていなかったものを、今年は受けていない人にダイレクトメールでお知らせして受けていただいたこともあり、大幅な増加ではないですが、受診者も微増したところでありました。来年度は胃がん検診を受けたかったが受けられない人たちの検診を計画してみようと思い、検診機関と相談しているところです。</p>
高橋会長	<p>大変だとは思いますが、ぜひ 1 回・2 回と実行していただきたいと思います。</p>
佐藤委員	<p>広域合併した市町村だと行政区や旧町単位での受診率の高低は地域差があるものですが、そのあたりの地域差はあるのですか。</p>
菊地	<p>統計資料の保健事業統計の 15 ページに小牛田地域と南郷地域の状況というところで見ているものがあります。</p>
佐藤委員	<p>あまり差がない状況ですね。特に低い地域に重点的に入っていくなどの策もあるのかなと思います。受けていない人に受けてもらう必要があるので、小牛田、南郷だけでなく、行政区など地区で見えて、特に受診率の低い地区に重点的に入っていくというローラー作戦もいいのかなと思いました。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございました。ぜひ、それも含めていただきたいと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>歯周疾患健診で感じているところですが、天気によって左右されます。どこの時期が一番良いというのは難しいですが、5月頃の農家が一番忙しい頃に天気が良いと予定していた人数の半分しか来ないということもあります。また、地域性があるのも確かにそうであると思います。</p> <p>以上、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは審議事項2)に移りまして美里町食育推進会議 第2期美里町食育推進計画に基づく平成25年度事業報告、平成26年度食育推進事業計画(案)について報告をお願いします。</p>
伊藤恵	資料5(訂正版)と食育に関するアンケートの結果に沿って事業報告・事業計画について説明。
高橋会長	最初に確認したのですが、資料5(訂正版)の中に平成25年度が斜線になり数値のない項目があるのはなぜでしょうか。
伊藤恵	斜線の場所の指標は町民健康調査で数値を拾っているものになります。その調査は5年毎の調査になっていますので、次回は27年度の調査になります。
高橋会長	それはぜひ、断り書きとして入れてほしいと思います。
佐々木委員	<p>主食・主菜・副菜をそろえて食べる小学生の割合が17.8%となっています。みんなで食事を楽しもうという部分の指標で誰かと一緒に食事をする子どもの割合をみると、小学生は93.1%という悪くない指標になっています。ということは大部分の子が大人と一緒に食事を食べていることになります。</p> <p>一緒に食卓を囲んでいて子供がそろえて食べないのは、そろえてあっても子どもが残したものをそのまま放っておいているのか、大人の声掛けや指導が不足しているのか、それとも親も食べないのかと色々と勘ぐってしまいます。その辺の家庭の指導はどうしたら良いものなのでしょうか。</p> <p>私たち食生活改善推進員は毎年依頼で不動堂中学校へ行ったりして食育の指導をしています。今、町民ではどのような病気が多いのか、それは野菜の不足も関連しているのだと関連付けて話してあげると中学生も分かってくれます。しかし、家庭に行った場合どうなのか保証はできません。家庭では揃えて出しているのか、食べないで残しているのを見過ごしているのか、指導していないのか、そこをどのように捉えたらよいのかなと思うのです。</p>
伊藤恵	主食・主菜・副菜をそろえて食べる3歳児の割合が64.6%という

	<p>結果になっていて、3歳児の方は22年度から見ても5割は超えているという状況から、急に小学生でなぜこんなに下がってしまうのか疑問に思うところもあります。小学生は平成20年からは児童生徒たちに自記式で記入してもらうようになっているので、小学校1年生・2年生では書くのも難しい状況にあるというのも考えられるのかなと思います。</p>
高橋会長	<p>今、お話があったように現実に食卓に出ているのですか。</p>
伊藤恵	<p>3歳児健診の結果を見る限りでは、5割くらいは朝ごはんにも野菜類は出ているのかなという状況は確認できています。1日の食事記録を見せてもらった結果ではありますが。</p>
高橋会長	<p>アンケートの結果でこの数値間に差があるのは気になるところです。</p>
佐々木委員	<p>一緒に食卓を囲んでいるわけなので、そこで食べなかったら昔であれば声掛けして食べるよう促すと思います。それを言わないで見逃しているのか、無いから食べないのか、どちらなのだろうと思います。</p> <p>宮城県では20代～40代の間で野菜摂取が減っているということで先日、県からの委託事業として子育て支援センターで食育教室をしたのですが、非常に簡単な野菜料理をご紹介しました。こんな簡単な料理で満足できるかなと思っていましたが、すごく喜んでます。簡単な調理方法ですが、こんなこと知らなかったのかなと感じました。</p> <p>やはりこれからの年代は若い子どもを育てていく年代であり旦那さんのメタボや高血圧も防がなければならない年齢です。そのため、お母さん方に頑張ってもらって色んな簡単な野菜の調理方法など、栄養士も一生懸命していますがもっと継続して色んなサークルに足を向けていくしかないのかなと思います。スーパーの惣菜で済ませている面もあるかもしれませんが、プラスの野菜料理を教えていかないと、どういう風に野菜を摂ったら良いのか分からない年代なのかなと感じました。</p>
高橋会長	<p>大きくいうと2つ理由が考えられるのですが、来年までに傾向が見えてくると指導・対応もしやすいのかと思いますので、次年度までをお願いします。</p> <p>他に何か気づいた点はありますか。</p> <p>(案)ということで報告をしていただいたところですが、他の委員の皆さんからのご意見もなさそうなので、審議はこれで閉めさせていただきます。</p>

	その他に移りますが、何か気づいた点がありましたらお願いします。
佐藤委員	第2次みやぎ21健康プランについて紹介・説明。
佐々木委員	保健師も栄養士も訪問等で一生懸命指導しているのがわかるのですが、町内として何か食と健康をテーマにした健康祭りのようなものがないのかなと思います。そうすれば盛り上がるのではないかと感じています。
高橋会長	良いご希望を頂きましたので、ぜひ次年度検討していただきたいと思います。
佐々木委員	立派なものではなく、近くの地区館で歩いて行って家族そろって簡単にいけるようなものがあれば良いなと思います。
高橋会長	それでは事務局お願いします。
渋谷課長	閉会

会議の経過を記載して、相違ないことを証するためここに署名する。

平成 26 年 3 月 5 日

署名委員 袖井 文二 印

署名委員 佐々木 洋子 印

議 長 高橋 文一 印